

2010年1月29日

報道関係各位

TAHI プロジェクト

第10回 IPv6 相互接続テストイベントを開催

インターネットプロトコル IPv6 の検証・評価システムを開発している TAHI プロジェクト（代表：横河電機株式会社 宮田宏）は、1月25日～29日の5日間、幕張メッセにて「The 10th TAHI IPv6 Interoperability Test Event」を開催しました。本イベントには、日本以外に、米国、カナダ、台湾、フィリピン、インドから15組織30名が参加し、IPv6実装機器どうしの相互接続性を検証する相互接続性検証テストを実施しました。また、同時にIPv6の仕様に準拠しているかどうかを検証する仕様適合性検証テストについても実施しました。特に、今回のイベントでは、NAT64など、IPv4アドレス枯渇への対策として現在IETFで策定が進められているIPv4/IPv6変換技術についてもテストをしています。

TAHI プロジェクトは、WIDE プロジェクト（代表：慶應義塾大学 村井純教授）の中の1プロジェクトで、IPv6の普及を目的として1998年に発足し、IPv6の最新技術および機能を、系統的・総合的に検証・評価する技術開発を行っています。本活動の成果は、迅速にフリーで公開しており、産業界および学界へ貢献しています。この結果、TAHI プロジェクトは、現在、IPv6の検証・評価に関する技術開発のリーダーとして、国際的な役割を果たしています。

相互接続性テストイベントは、TAHI プロジェクトの技術開発の成果を使用して、世界各国の企業あるいは研究組織が、IPv6を実装した実際の機器を持ち寄り、互いの相互接続性を検証するための場を提供するものです。互いに、他社製品との接続性を確認できるため製品開発者あるいは研究者の開発支援の場として高い評価を得ています。

このテストイベントは、1999年7月に第1回を実施して以来、世界でも有数の実績を持つものですが、今回で10回の開催となったことを記念して、1月26日に記念式典を開催いたしました。TAHI プロジェクト創設以来の開発・運用に関わる方々から、新しく初めてテストイベントに参加された方々まで、たくさんの方々にご参加いただき、また、世界各国からのお祝いのメッセージをいただき、盛大に実施することができましたことをあわせてご報告します。

<参加組織一覧>（組織名アルファベット順）：

中華電信研究所(CHT-TL IPv6 Testing Lab)

株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ(FUJITSU COMPUTER TECHNOLOGIES LIMITED)

インフォウェポン社(InfoWeapons Incorporated)

株式会社インターネットイニシアティブ(Internet Initiative Japan Inc.)

財団法人 電気通信端末機器審査協会 (Japan Approvals Institute for Telecommunications Equipment)

慶應義塾大学(Keio University)

ミラクル・リナックス株式会社(MIRACLE LINUX CORPORATION)

エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社(NTT Advanced Technology Corporation)

パナソニック電工株式会社(Panasonic Electric Works Co., Ltd.)

レッドハット株式会社(Red Hat K.K.)

日本セーフネット株式会社(SafeNet, Inc)

インド政府 郵政省 電気通信局 電気通信工学センター(Telecommunication Engineering Centre (TEC), Department of Telecommunications (DoT), Ministry of Communications and IT, Government of India)

ビアジェニ(Viagénie)

安川情報システム株式会社(YASKAWA INFORMATION SYSTEMS Corporation)

横河電機株式会社(Yokogawa Electric Corporation)

お問い合わせ先： 横河電機株式会社 技術開発本部 TAHI プロジェクト事務局まで

電話：0422-52-6413 ファックス：0422-52-6426

e-mail: contact@tahi.org